



ペンギン通信



QMA10290
ISO9001 認証取得

2020年8月242号

<https://www.akutagawa.co.jp>

ご家族様との「オンライン面会」を活用ください!

アクタガワでは、新型コロナウイルス対策として、大切なお客様を不測の事態からお守りするために、ご家族様には大変申し訳なく心苦しい思いではありますが「面会制限」を設けさせて頂いております。そこで、当社にできるサービスとして、これまで静岡県外のお客様・ご家族様を対象に行って参りました「オンライン面会」を、7月よりご希望する静岡県内にお住まいのお客様・ご家族様につきましても開始しました。介護付き有料老人ホーム「プレミアムハートライフ」、サービス付き高齢者向け住宅「ハートライフ」、グループホーム「ハートフルホーム」で好評を得ていますので、お気軽に「オンライン面会」をご活用ください。



■写真は、静岡市内グループホームでのオンライン面会の様子です。

東京在住のお孫様と、静岡市内のグループホーム入居者様と、施設内相談室にてPCを使っておよそ15分間「オンライン面会」しました! モニターに映るお孫様を見て「〇〇ちゃん!!」とこぼれる様な笑顔を見せてくれました。お孫様からも「コロナが終息せず、いつまで会えないか分からない中、画面越しでも会えてホントに良かったです! 有り難う御座いました!」との言葉を頂きました。家族の絆って凄いパワーを持っていますね!

■「ZOOM を利用したオンライン面会」の手順

- ①面会ご希望の方は事前に各拠点へ直接ご連絡頂きオンライン面会の日程を決定します。
- ②アクタガワ担当者よりオンライン面会詳細をお客様へeメール等でご案内します。
- ③面会当日、事前に接続テスト実施を行います。
- ④映像・音声の確認完了後、アクタガワ担当者がお客様を相談室へ誘導します。
- ⑤アクタガワ担当者の見守りのもと、オンライン面会（見学）を実施します。
1回につき15分程度を目安とさせていただきます。



今回は、当社の各事業所で取り組んでいる「生活リハビリ」について取り上げていきたいと思います。

◇活動レポート

87歳男性の方です。

《病歴》脳梗塞、前立腺肥大、眼底出血

《ご本人・ご家族の希望》

ご本人)「歩けるようになりたい」

ご家族)「歩けるようになるのであれば、歩いてもらいたい」

《生活リハビリの目標》

短期目標)「福祉用具を使用し、施設内を歩いて移動できるようになる」

長期目標)「娘様とのドライブでのお出かけを、歩いて楽しめるようになる」

《生活リハビリのプログラム》

理学療法士：関節可動域訓練、下肢の筋力増強、立ち上がり訓練、
立位での足踏み運動、歩行訓練

看護師：スクワットによる下肢筋力トレーニング

介護士：トイレ時の介助量を減らし、自立にて実施する

《改善ポイント》

①車イスからの立ち上がりが難しい ⇒⇒⇒ 手すりがあれば見守りだけで出来る様に

②両手引きで短距離の歩行 ⇒⇒⇒ 歩行器での歩行訓練が出来る様に

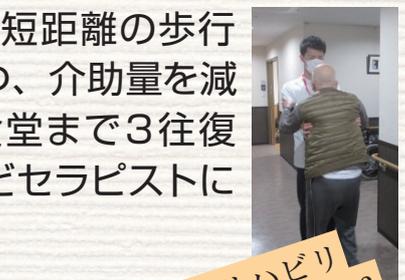
開始当初はバルーンカテーテル留置し車椅子生活で、車椅子からの立ち上がりが難しいレベルでしたが、立ち上がり訓練を反復して行うことで手すりを利用すれば見守りだけで出来る様になりました。



歩行に関しては、まず足踏み運動を行い、両手引きで短距離の歩行訓練を実施していきました。徐々に歩行距離を伸ばしつつ、介助量を減らしていき、現在は休憩を挟みながらデイルームから食堂まで3往復(30m×3)を片手引きにて歩行可能に。その際ほとんどセラピストに頼ることはなく歩いています。

(5月29日現在歩行器での歩行訓練開始)

開始当初はあまりリハビリに前向きな方ではなく、リハビリ中も笑顔など見られなかったのですが、現在は「今日はやってくれるか?」「歩きたい」との言葉をご本人の方から頂けるようになり、リハビリ自体を非常に楽しみにして頂いているようです。



今日はリハビリ
やってくれるか?
歩きたいよ



ウィズコロナ時代の新たな出前演劇

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

SPAC 『出張ラヂヲ局』

PREMIUM
ハートライフ
HEART LIFE

介護付有料老人ホーム

in プレミアムハートライフ千代田



7月2日（木）プレミアムハートライフ千代田（静岡市葵区）にて「SPAC（スパック）」俳優さんによる「出張ラヂヲ局」を開催しました。

SPAC俳優が、「走れメロス（太宰治）」等の名作の朗読・トーク・楽器の演奏などをFMトランスミッター（小型電波発信機）を持って、外からFM波にのせて送信。感染予防対策に配慮した上で、建物内にてラジオ等で受信して聴いていただくという「ウィズコロナ時代の新たな出前演劇」で、文化・芸術による「豊かな時間」を過ごすことができました。

SPAC（スパック）について

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（Shizuoka Performing Arts Center : SPAC）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団です。舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。

感性にささやく五感の生活

芒種

二十四節気の一つで、新暦では6月6日頃を指します。麦や稲のように穂の出る穀物の種をまく季節という意味で、一般には田植えを始める頃とされています。

かつて田植えは、実際の農作業であると同時に、田の神様に豊作を祈る大切な神事でした。この頃、全国各地では「御田植祭」が行われ、菅(すげ)笠と茜たすきを身に着けた早乙女(さおとめ)たちによって、田に苗が植えられます。

稲作中心の日本では、米や米を原料とする酒、餅は重要なもの。田植えは田の神様に豊作を祈る大切な神事です。
(ハートライフ初生)



紫陽花

梅雨に入ることを「入梅」といい、暦の上では6月11日頃にあたります。

梅雨の季節と言えば紫陽花。雨が似合う、風情ある美しい花です。

紫陽花の名所とされる寺や神社には、たくさんの紫陽花が咲き誇り、手水鉢の水に浮かぶ姿は私たちの目を和ませてくれます。

また紫陽花は、毎月6のつく日に軒下や玄関に逆さにして吊るすことで、厄除け、魔除けになるといわれています。

(ハートライフ高柳)



夏越の祓

一年の折り返しにあたる6月30日、半年間の穢れを祓い清め、残る半年の無病息災を祈願します。神社によって作法は異なりますが、大きな茅の輪を三回くぐって身を清め、家内安全、身体健全を祈ります。

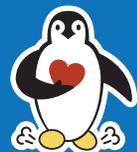
『水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のおとというなり』

また、紙の人形(ひとがた)に息を吹きかけたり、身体を撫でることで穢れを人形に移した後、水に流したり焚いたりするところもあります。

(ハートフルホーム城北)



ぺんぎん食堂



7月

七夕そうめん・いなり寿司
季節野菜の天ぷら盛合せ
いんげんと人参のごま和え
ゼリー&ホイップ

